

## 人工知能の司法応用の規範化と強化に関する最高人民法院の意見

中国共産党の第20回全国代表大会の精神を深く学習し、習近平法治思想を深く貫徹し、『中華人民共和国国民経済と社会発展第14次5カ年計画および2035年までの長期目標綱要』および『次世代人工知能発展計画』を徹底的に実施し、人工知能と司法業務の深い融合を推進し、スマート裁判所の建設を全面的に深化させ、より高いレベルのデジタル正義の創造に努め、人民法院の実務と結びつけて、本意見を制定する。

### 一、指導思想

1. 習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想を指針とすることを堅持し、習近平法治思想を深く貫徹し、人民のための司法・公正な司法という業務の本筋を堅持し、人工知能技術と、裁判の実施、訴訟サービス、司法管理及び社会統治に関するサービスなどの業務との深い融合推進を加速し、司法への人工知能技術の応用を規範化し、司法への人工知能の応用の実効性を高め、裁判体系と裁判能力の近代化を促進し、社会主義現代化国家を全面的に建設し、中華民族の偉大な復興を全面的に推進するために、強力な司法サービスを提供する。

### 二、全体的目標

2. 2025年までに、比較的整った司法への人工知能技術応用システムを基本的に構築し、人民のための司法・公正な司法のために全方位的なインテリジェント補助サポートを提供し、裁判官の事務的な業務の負担を大幅に軽減し、廉潔な司法を効果的に保障し、司法管理レベルを高め、社会統治に関するサービスの革新に貢献する。2030年までに、規則のリードと応用のモデル効果を持つ司法への人工知能技術の応用と理論体系を構築し、人民のための司法・公正な司法のために全プロセスにわたる高レベルのインテリジェント補助サポートを提供し、応用規範の原則が社会的にあまねく認められ、裁判官の事務的な業務の負担を大幅に軽減し、廉潔な司法を効率的に保障し、社会統治に精確に貢献し、応用効果を十分にはっきりと示す。

### 三、基本原則

3. 安全・合法の原則。全体的な国家安全観を堅持し、法律法規に合致しない人工知能技術と製品の使用を禁止し、司法人工知能製品とサービスは法に基づいて研究開発、

配置、運行しなければならず、国家の安全性を損なってはならず、合法的権益を侵害してはならず、国家の秘密、インターネットセキュリティ、データセキュリティと個人情報情報が侵害されないことを保証し、個人のプライバシーを保護し、ヒューマンマシンの調和と友好を促進し、安全で、合法的で、効率的なインテリジェント司法サービスの提供に努める。

4. 公平公正の原則。司法の法則に則り、公正な司法に貢献することを堅持し、人工知能製品とサービスが差別、偏見がなく、技術介入、データまたはモデルのばらつきによって裁判過程と結果の公正に影響を与えないことを保証するとともに、異なる利益の訴求を尊重し、司法の需要に基づいて公平に合理的で実行可能な方案を提供することができ、困難な集団、特殊な集団に十分に配慮し、司法活動の中で必要な助けを得て、インテリジェント司法サービスによる各種使用者への普遍的な包容力と機会の平等化を実現する。

5. 裁判補助の原則。裁判業務に対する補助的な位置づけと使用者の自主的な意思決定権を堅持し、技術がどのようなレベルにまで発展しても、人工知能は裁判官の裁定に代わってはならず、人工知能の補助結果は裁判業務または裁判監督管理の参考としてのみ使用でき、司法裁判は常に裁判官によって行われ、裁判の職権は常に裁判組織によって行使され、司法責任は最終的に裁判者が負うことを保証する。各種使用者は、司法人工知能が提供する補助を利用するか否かを選択する権利があり、人工知能製品およびサービスとのインタラクションをいつでも終了する権利を有する。

6. 透明性・信頼性の原則。技術研究開発、製品応用、サービス運営の透明性を堅持し、人工知能システムにおける司法データ収集管理モデル、法律語義認知過程、裁判補助推定ロジック、司法サービスインタラクティブメカニズムなどの各段階が解釈可能、試験可能、検証可能な方式で関連責任主体の審査、評価、登録を受けることができることを保証する。司法人工知能製品およびサービスが適用される場合、理解しやすい方法で相応の機能、性能と制約を説明・表示し、応用過程と結果が予測可能、追跡可能で、信頼できることを保証しなければならない。

7. 公序良俗の原則。社会主義の中核的価値観を司法の人工知能技術の研究開発、製品の応用とサービスの運用の全過程に融合することを堅持し、人工知能司法の応用が公序良俗に違反してはならず、社会の公共利益と秩序を損なってはならず、社会の公共道徳と倫理に背いてはならないことを保証し、リスクマネジメント、応急処置と責任調

査メカニズムを健全化し、人工知能の司法応用において発生する可能性のある倫理道徳リスクを防止する。

#### 四、応用範囲

8. 事件の処理における人工知能の全プロセス補助を強化する。証拠の導出と審査、法律法規の提示、類似事件の提示、全事件の裁判補助、法律文書の作成補助、法律文書の審査補助などのインテリジェント応用を支援し、裁判基準の統一を促進し、司法の公正を保障し、司法の権威を維持する。

9. 人工知能による事務業務の補助を強化する。電子ファイルの自動分類帰目、案件情報の自動埋め戻し、案件の繁雑な配置転換、送達住所及び送達方式の自動推薦、司法活動の調書の自動生成、財産調査・制御の補助、電子ファイルの自動保存などのインテリジェント応用を支援し、各種人員の仕事の負担を減らし、司法効率を高める。

10. 人工知能による司法管理の補助を強化する。事件裁判の逸脱度の早期警報、最終的な事件の検証、不正な司法行為の自動検査、清廉な司法リスク管理などのインテリジェント応用を支援し、司法管理の質と効率を高め、清廉な司法を保障する。

11. 人工知能サービスによる多元的な紛争解決と社会統治を強化する。司法資源の推薦、訴訟と調停諮問と質疑応答、訴訟予期補助評価、社会統治リスクの早期警報と意思決定の補助などのインテリジェント応用を支援し、社会矛盾を解消し、社会統治に貢献するために新たな道と方法を提供する。

12. 人工知能の司法への応用シーンと範囲を絶えず拡大する。人工知能の技術革新プロセスと人民法院の改革発展の実践を組み合わせ、訴訟サービス、裁判の実施、司法管理と社会統治に貢献するなどの分野の重要な応用シーンを積極的に模索し、新しい応用範囲を絶えず開拓する。

#### 五、システム構築

13. 人工知能応用のトップレベル設計を強化する。人民法院の情報化建設発展計画と配置に基づき、スマート裁判所の人工知能関連情報システムアーキテクチャと技術標準システムを設計、整備し、人工知能の司法応用シーンを豊富に拡大し、人工知能システムの情報安全と維持管理保障制度を確立・健全化し、各級人民法院の人工知能システムの構築を指導・標準化する。

14. 司法データプラットフォームとスマート裁判所の頭脳の構築を強化する。司法データベース、データサービスプラットフォーム、司法知識ベース、人工知能エンジン、知識サービスプラットフォーム、司法ブロックチェーンプラットフォームなどのシステムの構築と統合を加速させ、実体化した司法データプラットフォームとスマート裁判所の頭脳を構築し、各種業務向けの人工知能の司法応用に関する核心的な役割を果たす。

15. 司法人工知能応用システムの構築を強化する。人民法院の司法活動の典型的な業務シーンをめぐって、インテリジェントレベルの向上を主な方向性とし、司法データプラットフォームおよびスマート裁判所の頭脳と、スマートサービス、スマート裁判、スマート執行およびスマート管理などの業務応用システムとの融合・統合を促進し、司法業務の需要を満たし、先進技術の発展方向に合致する司法人工知能製品とサービスを絶えず提供する。

16. 司法人工知能の重要なコア技術の難関攻略を強化する。国家重点プロジェクト、科学研究プロジェクトと科学技術革新プラットフォームに基づいて、産官学の優位力を組織し、学科の交差触媒の役割を発揮し、司法コンテキストに向けた大規模な事前訓練言語モデルとその応用、マルチモード司法ビッグデータの高効率処理方法、司法データドリブンとナレッジベースを結合したディープニューラルネットワークモデルの構築とサンプル学習方法に対して、法律知識の強化に基づく解釈可能な検索と推理モデル、司法効能の向上に向けたヒューマンマシンインタラクションのパラダイム、次世代人工知能の裁判補助システムなどの重要なコア技術に基づいて英知を結集して難関攻略し、司法人工知能システムの構築に牽引と支援を提供する。

17. インフラ整備と安全維持管理の保障を強化する。司法人工知能の計算力、通信とサービス能力に対する需要に基づき、通信ネットワーク、計算メモリー、汎用端末設備と専用情報化施設などの情報インフラを科学的かつ合理的に計画、構築し、ネットワークセキュリティ、データセキュリティと個人情報保護能力を強化し、人工知能の運用・保守メカニズムを整備し、人工知能の司法応用に必要な保障条件を提供する。

## 六、総合的な保障

18. 思想認識を高め、組織指導を強化する。人民のための司法・公正な司法における人工知能の運用の重要な意義を高度に重視し、スマート裁判所の次世代人工知能モデルの応用をきっかけに、業務の結合点、切り口を正確にとらえ、発展の法則を把握し、

資金支援を勝ち取り、宣伝訓練を重視し、幹部と警官の十分な参加を導き、司法人工知能の応用が進展を得るよう努力する。

19.協同革新を促進し、知的財産権を保護する。司法ビッグデータの品質管理・制御を強化し、部門、階層、業務にまたがる司法データの協同共有とインテリジェントサービスの共同構築・共有メカニズムを整備し、司法人工知能科学技術の革新と専利、ソフトウェア著作権の申告を支援し、関連する知的財産権を確実に保護する。

20.安全保障を強化し、安全リスクを防止する。司法データの分類・等級管理を強化し、重要なデータとセンシティブな情報の保護を強化し、司法データの安全共有と応用モデルを改善し、司法人工知能倫理委員会などのメカニズムを通じて、倫理審査、コンプライアンス審査、安全評価などの方式を総合的に取り入れ、人工知能の応用における安全リスクを防止・解消する。

最高人民法院

2022年12月8日

出所：2022年12月9日付け最高人民法院ウェブサイト

<https://www.court.gov.cn/fabu-xiangqing-382461.html>

※本資料はジェトロが作成した仮訳となります。ジェトロでは情報・データ・解釈などができる限り正確に記載するよう努力しておりますが、本資料で提供した情報などの正確性についてジェトロが保証するものではないことを予めご了承下さい。